

即時無條件の全同合同論は、理想論的非科學的の理論である。

何故に此の全同合同論が理想論であり非科學的であるかと云へば、此の全同合同論者の言ふ如く、金融ブルジョアジの狂暴的攻勢に對抗するためには全無産階級労働組合の戦線の統一勢力の結合、闘争力の強大化なくしては駄目であるし、今日大衆はこの爲めに全同合同を要望してゐるといふ、だから一切の感情、一切の條件、従來の行懸り等々を投げ捨て、即時全同合同をすべしと主張する。誠に大衆の人氣取的宣傳的、合同論である。丁度、人間を説得するに當つて男女の性別、老若の年齢相異してゐる點を説明することなく、ゴチャ／＼にして人間と云ふのたと主張するの如何等變りはない。男でも女でも老人でも少年でも人間には變りない、だが皆各々その特質を持つてゐる。各組合の立場各組合の内容、運動方針等々を全然相互に理解することなくして全同合同を唱へることは素人欺しの合同意見である。勿論この意見に根本的に反對してゐるのではない。今日押し迫れる資本の狂暴的攻勢に對抗する爲めの闘争力の強化の上から、この合同論は實踐的に効果的に役立つものである。若し全同合同とすれば全國の幾十幾百の組合を集めなくてはならぬし、よし主要組合だけが集つても、さう簡単に即時無條件に合同が出来

得ないことは、最近の勞農黨の提唱に依る無産階級の合同委員會が開催に至らなかつた経過を見ても分るではないか。共同闘争を通じて全同合同の意見は組合同盟との合同を毛嫌する全同合同論の化身である。

我々は幾百組合、數十の單獨同盟體の各組合が如何にして効果的なる共同闘争が出来ぬかを疑問に思ふ。若し地域的、地方的、個々の闘争が行はるとしても全同合同には餘蘊ない。又各主要組合だけでも共同闘争が固着に出来るなれば、それは合同することだ。今日の如く對立感情の爲めにお互が双方の揚子を取つてゐる時は、共同闘争は仲々困難である。勿論共同闘争が悪いといふのではない。共同闘争をやからには實際に闘争力を發揮せねばならぬ。それが従來の経験からすれば仲々理論に提れて、仲々甘く行かないだが例外として地域的共同闘争が行はれてゐる例もあるがそれとてすぐ合同への實績を揚げてゐるか否かは疑問である。是つて非闘争的な幹部の失政を攻撃する位に止る。従つて吾等は今日の荒狂ふ資本の攻勢に對抗するために實際的に闘争力を發揮し得る事を現實の合同意見とせねばならぬ。即ち合同することに依つて、資本家階級に對する闘争がヨク効果的に、より収獲的に行はれる事を目的とするものである。

我が全國同盟大阪聯合會の委員會が此の立場で、我が同

盟と同一の立場と實質的の組織的勢力を持ち不斷の闘争を行ひつゝある組合同盟との無條件即時合同を押し進めつゝある譯である。吾等は抽象的、宣傳的、形式的の合同論より實踐的、闘争的、効果的の合同を完成する爲め此の兩同盟の合同大會を開催することを本大會が、議し、行儀める合同運動を指示し、以つて一日も早くより強大なる大合同――全線的の統一への拍車とせねばならぬ。

實行方法

合同委員會の経過を承認し、合同大會に参加すること。

(三) 失業對策に關する件

提案 大阪金屬勞動組合

主 文

吾等は資本家の生産下に行なはれ一切の失業に反對すると共に失業防止及失業者救済の爲めに闘争せんとするものである。

理 由

今日の資本家の利潤は實に労働者の搾取と酷使に基く。此の搾取、被搾取の關係が今日の社會の根柢である。従つて今日の社會で労働者は自らの力に依つて生活權を守り延ばせねばならぬ。その闘争は彼等資本家自身の利潤追求の慾望から生産機關を高度化する。生産機關が高度に發展すればする程失業者は續出する。従つて今日の資本家の社會の續く限り、失業問題の根本的に解決が出来ない結論に到達する。だが失業問題は現實の問題だ。これを根本的に解決が出来ないものとして彼等の搾取の強化の供物として放置することは出来る。我等は此の失業問題を有効に戦ひ抜く事に於いて一層資本主義の崩壊を早める事を科學的に知つて居る。

資本家の經濟組織の内的矛盾は従に不變資本の増大を進展せしむ。不變資本の増大は結局利潤を遞減に導く。その結果彼等は最後の政策として未だ克く實行し得なかつた産業合理化―科學的管理法―能率増進―の術策を利用するに到つた。即ち労働の組織を改革し、設備を完備し、生産規模を改良し、最も精銳にして能力の發揮し得る労働者を少數だけ使役する様になつた結果、従來の熟練労働者の大部分は職を失ひ、常勤的労働者は賃銀の値下と労働條件の改善低下を強制される。

斯くして資本主義が發展の頂上から崩壞期に瀕するや失